

○ 小学校（ 4 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・いろいろな本や文章を、目的に応じた読み方で読むことができる。
- ・目的や必要に応じて本文を引用したり要約したり、心に残ったことを表したりすることができる。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・本を選ぶときは、ジャンルなどの制限を設けずに、「どんな人（だれ）に、この本を読んでもらいたいか」を考えて（相手意識をもって）本を決めるように指導した。
- ・ビブリオバトルの準備に入る前に、自分たちの身の周りには、いろいろなジャンルの『読み物』があるということを全体で確認した。

○ 学習の展開（全8時間）

第1次	身の周りの『読み物』について考える。 ・わたしたちの身の周りには、どのような『読み物』があるか考える。 ・おすすめしたい本を決めよう。
第2次	『ミニ・ビブリオバトル』の準備をしよう。 ・選んだ本の『いちばんのおすすめポイント』を考える。 ・『ミニ・ビブリオバトル』の原稿メモを作成する。 ・『ミニ・ビブリオバトル』に向けてグループで練習をする。
第3次	同じ本を読みたい人、この指とまれ！～ミニ・ビブリオバトル～ ・『ミニ・ビブリオバトル』を行う。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none">・ジャンルに関係なく、自分の好きな本を紹介することができたので、児童も意欲をもって取り組むことができた。・原稿メモを作るときに、「あらすじ」「引用」などの意味を確認し、書き方なども指導することができた。
② 課題	<ul style="list-style-type: none">・『ビブリオバトル』として必要な本の紹介の仕方については指導がたりず、自分が考えた原稿をただ読むだけになってしまった児童もいた。・おすすめ本の紹介に終わってしまった児童もいた。
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none">・チャンプ本に選ばれなかったけれど、みんなにおすすめの本を教えることができよかったです。まだ、おすすめしたい本があるので、またやりたいです。・チャンプ本に選ばれないと思ったけれど、選ばれてうれしかった。自信がもてた。・友だちが紹介してくれた本がおもしろそうだったので、今度読んでみたいです。・自分はチャンプ本に選ばれなかったけど、同じ班でアドバイスした子が選ばれたから嬉しかった。・もっと話す内容の順番を工夫したらよくなるから、次は工夫したい。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none">・『ビブリオバトル』とはどういうものか知るために、教員が、実際に本を紹介する。その後、『ビブリオバトル』でチャンプ本になった高校生の映像を見せ、児童の意欲を高めた。・教員のおすすめ本コーナーにあったPOP（教員が作成）を参考に、『ビブリオバトル』でどのようなことを伝えたらよいかを確認した。・おすすめ本を紹介するには、どんなことを伝えたらよいかを全体で考えた。児童から出た意見をもとに、話す項目を決め、児童が自由に選択できるようにした。・メモは短冊にし、ラミネートした台紙にテープで貼るようにした。・話す順番を変えるときに、貼りかえることができるようにした。また、台紙をラミネートすることで、グループでアドバイスをするときに、ホワイトボード用マーカーを使って書き込むことができるようにした。

国語科学習指導案

1. 単元名 「同じ本を読みたい人、この指とまれ！～ミニ・ビブリオバトル～」（本は友達）

2. 学 年 第4学年

3. 単元目標

- ・いろいろな本や文章を、目的に応じた読み方で読むことができる。 【C読む（1）エ・カ】
- ・目的や必要に応じて本文を引用したり要約したり、心に残ったことを表したりすることができる。 【B書く（1）ウ】

4. 教材観

「本は友達」は、6年間を通じて、さまざまな観点から「本」「読むこと」「読書」について考える

教材である。4年生では、教科書の挿絵をきっかけとして、生活の中で読んでいるものを振り返る。その中で、自分の目的に合ったものを読んでいることや、読むものの種類によって読み方が違っていることを意識させたい。

本単元の重要指導事項は、学習指導要領におけるC読む（1）エ「目的や必要に応じて、文章の要
点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」および、カ「目的
に

応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと」である。今回は、図書室にある本の中から、自分
の

おすすめ本を1冊選んで、友だちに紹介する場を『ビブリオバトル』という形で設定する。『ビブリオバトル』とは、本の紹介のコミュニケーションゲームである。4～6人のグループを作り、それぞれが紹介したい本を持ち寄り、3分間でプレゼンテーションを行う。その後、紹介された本についてディスカッションを行い、グループの中で一番読みたい本『チャンプ本』を決定する。この活動を通して、様々な友だちの価値観に触れ、そのよさを認め合うこと、紹介を通じて読書の幅を広げることができると思う。

5. 指導観

【手だて①】『ビブリオバトル』の動画を視聴する

本単元の導入として、実際に行われた『ビブリオバトル』の映像を視聴する。この映像を観ることにより、この学習の単元目標と、活動のゴールを明確にし、児童の「伝えたい」という気持ちを高める。また、動画を視聴することによって、どのような発表の仕方がよいかを明確にし、今後の児童の活動につなげる。

【手だて②】 ペア・グループでの伝え合い活動

『学び合い活動』の一環として、ペア、グループでの伝え合い活動を設定する。前時までには、児童は、ビブリオバトルに向けて、自分のおすすめ本を紹介するための発表メモを作成する。このとき、ペアやグループで、その本についての話をすることで、発表メモの参考になると考える。また、本時では、ビブリオバトルの練習をグループごとで行う。友だちの発表を聞いてアドバイスをしたり、感想を述べたりする活動をすることで、様々な観点からの意見が集められ、より深い学びにつながるようにしたい。

【手だて③】 教員によるおすすめ本コーナーの設置

「他の人がどんな本を読んでいるのか」を知る機会とするために、6月に、教員による、おすすめ本コーナーを設置した。工夫を凝らしたPOPを付けた教員もいて、展示ブースの前を通る児童が本を読む姿がよく見られた。今回の活動の前に、そのときの写真を提示することで、「どうすれば本のよさを伝えられるか」「たくさんの人に読んでもらうには、どうしたらよいか」を考えるきっかけにする。

6. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の読み方について振り返り、目的による読み物や読み方の違いに興味をもち、考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を紹介するために、本文を引用したり、要約したりすることができる。 ・目的に応じて、いろいろな文章を、それに合った読み方で読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたことや思ったことを表す言葉を意識して書いている。

7. 単元構造図（指導計画）

【学習課題】自分のおすすめの1冊を選び、『ミニ・ビブリオバトル』を開こう！

【第1次】身の周りの『読み物』について考える。（3時間）

1 わたしたちの身の周りには、どのような『読み物』があるのかな。

- ・教科書→勉強するため。
- ・絵本、小説→作品を味わう。
- ・図鑑、辞典、インターネット→調べるため。

2・3 おすすめしたい本を決めよう。

○本を紹介する方法は、どんなものがあるのかな。

- ・ポスター
- ・POP
- ・カード

○映像を見て、『ビブリオバトル』とはどんなものかを考える。

- ・自分のおすすめ本を読んでもらうためには、どうしたらいいかな。
- ・どんな本を紹介しようかな。
- ・「どんな人におすすめしたいか」を考えて、本を選ぼう。

【図書館利用】

- ・図書室にある本の中から、おすすめしたい本を選ぶ。

【図書館利用】

- ・教員が作った本の紹介POPを参考に、原稿を作成する。

【第2次】『ミニ・ビブリオバトル』の準備をしよう。（4時間）

4～7 おすすめしたい本を選んで、原稿メモを作成する。

○選んだ本の『いちばんのおすすめポイント』を考える。

- ・本の中で、いちばん心に残った文章や言葉は何か考えよう。（引用についての指導）

○『ミニ・ビブリオバトル』の原稿メモを作成する。

- ・どんなことを伝えたらいいかな。

○『ミニ・ビブリオバトル』に向けてグループで練習をする。（本時）

【第3次】同じ本を読みたい人、この指とまれ！～ミニ・ビブリオバトル～（1時間）

8 『ミニ・ビブリオバトル』を開催する。

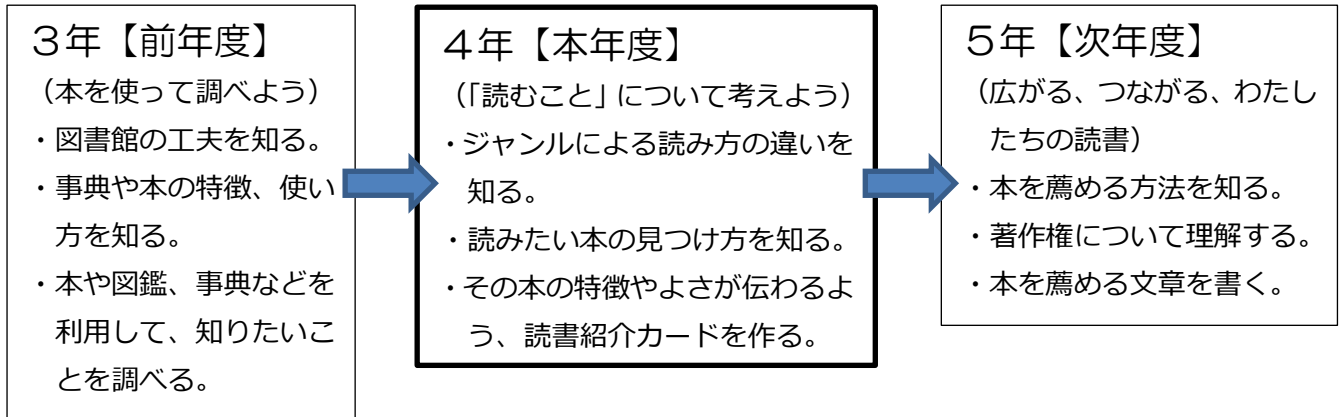
- 『ミニ・ビブリオバトル』を行う。

- ・みんなが読みたくなるように、本の紹介をしよう。



【図書館連携】・今回の活動で選んだ本について、『読書郵便』を作成する。

8. 単元の系統性



9. 本時の学習 (7 / 8)

(1) 本時の目標

【教科目標】

- ・本文を引用したり、要約したりして、本を紹介することができる。

【態度目標】

- ・発表をよりよくするために、班のメンバーでアドバイスし合うことができる。
- ・アドバイスを参考にして、自分の原稿メモを振り返り、再考することができる。

(2) 準備物

- ・教員…本、書画カメラ、ワークシート
- ・児童…本

(3) 本時の展開

時間	学習活動	○指導上の留意点 ●予想される児童のようす	形態	評価規準
----	------	--------------------------	----	------

つかむ5分	1. 本時の課題の確認	<p>○前時の活動を振り返り、本時の課題を確認する。</p> <p>○ビブリオバトルとは、どういうものだったかを再度確認する。</p>	一斉	
	<p>(めあて)</p> <p>①本文を引用して、おすすめ本をしょうかいすることができる。</p> <p>②友だちの発表について、思ったことをグループで伝え合うことができる。</p>			

深める35分	2. 本のよさを伝えるために、どんなことを話すとよいか確認する。(5分)	○前時のメモ作りで、どんなことを書いたか確認する。	一斉	
	(話すこと) ・本の題名 ・筆者 ・登場人物 ・本との出会い ・読むきっかけ ・あらすじ ・気に入っている場面 ・おすすめの言葉			
	3. 個人練習をする。(3分)		個人	
	4. グループで『ミニ・ビブリオバトル』の練習をする。(10分)	○今回の班は、発表当日とは別の班にする。 ●ビブリオバトルに向けて、班のメンバーにアドバイスをする。	グループ	・本文を引用して、本を紹介することができる。
	5. どんなアドバイスや感想が出たか、全体で確認をする。(5分)	○各グループ、2人の発表が終わったところで、一斉でどんな意見が出たかを確認する。 ○意見は、「何についての意見」かわかるように、仲間分けして板書する。	一斉	
	6. 再度、グループで練習をする。(12分)	○グループ活動では、1人につき5分ずつ考える時間を設ける。	グループ	・班で出たアドバイスと比べながら、意見交換に参加することができる。

まとめ5分	7. 本時の振り返りをする。	○振り返る視点を与える。 ・誰のどんな意見がよかったか。 ・班活動をしてどうだったか。 ・次時に向けた意気込み。	一斉	・学習の振り返りをプリントに書くことができている。
-------	----------------	---	----	---------------------------

(4) 評価

【教科目標】

- ・本文を引用したり、要約したりして、本を紹介することができた。

(ワークシート・グループ交流)

【態度目標】

- ・発表をよりよくするために、班のメンバーでアドバイスし合うことができた。(グループ交流)
- ・アドバイスをもとに、自分の原稿を振り返り、もう一度内容を考えることができた。

(ワークシート)

10. 板書計画

「ミニ・ビブリオバトル」を開こう！
(めあて)

① 本文を引用して、おすすめ本をしようかいうことができる。
② 友だちの発表について、思ったことをグループで伝え合うことができる。

(ビブリオバトルで話すこと)

- ・本の題名
- ・筆者(作者)
- ・登場人物
- ・本との出会い
- ・読むきっかけ
- ・あらすじ
- ・気に入っている場面
- ・おすすめの言葉

☆グループでどんな意見があつたかな。

話し方について

内容について

その他

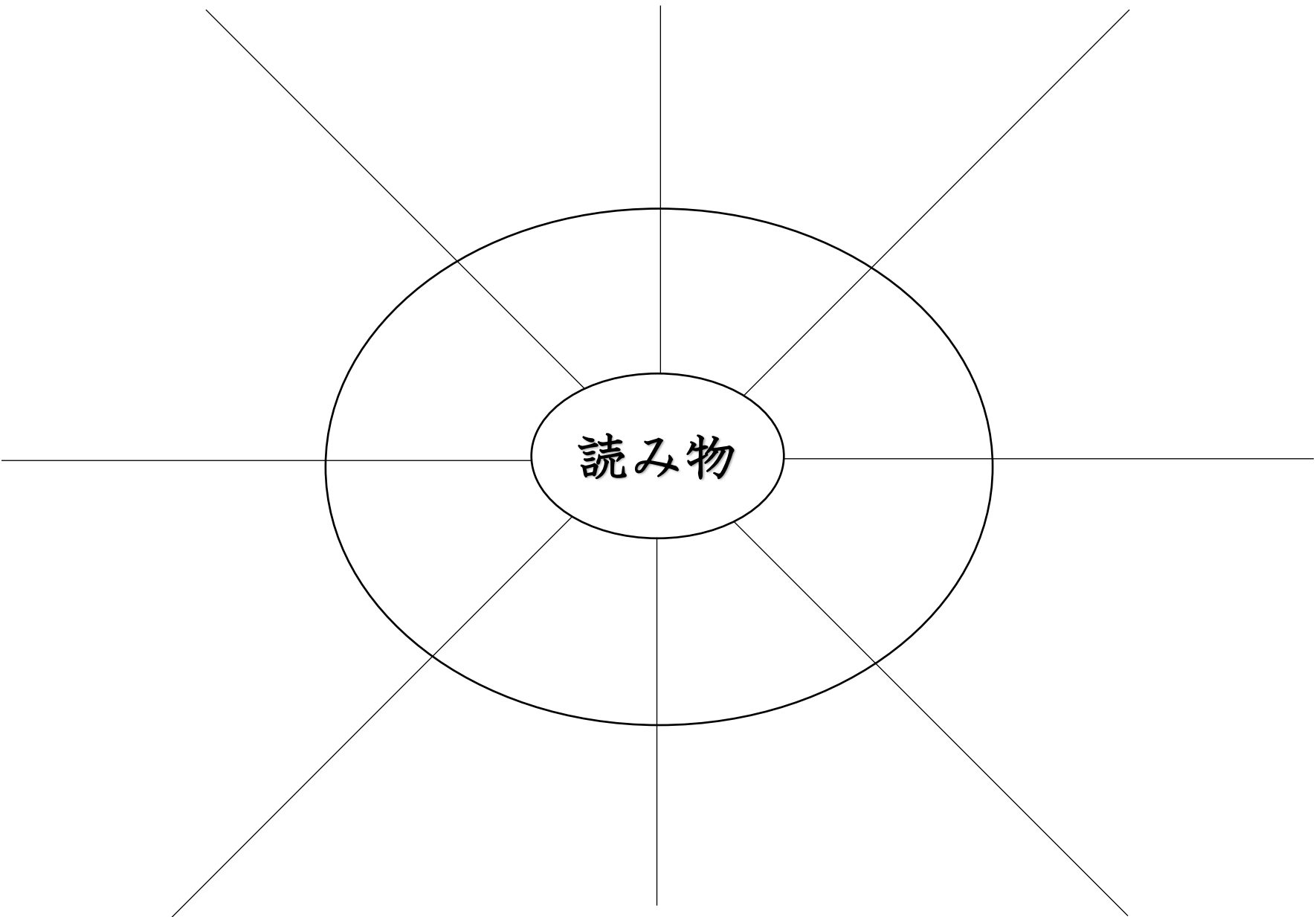
「読者の声」について考える

(

)

(8分)

(読者の中)



(5分) 今日の授業で、どの部分がいかがわかったか？

「読みたい」は「読む」ではない

()

()

(おまへ)

聞いている人に「その本、読みたい!」と思ってもらえるようにするのは、何を伝えたらいいかな?

(15分～20分程度)

(紙×2枚)

(ふりかえり)「だれに」「どんな本」をしようかしょうかな。

--	--	--	--

--	--	--	--

<p>あらすじ</p> <p>本の内容をかんたんに まとめる</p>			
--	--	--	--

--	--	--	--

<p>おすすめする相手</p> <p>どんな人に・なぜ</p>			
---------------------------------	--	--	--

--	--	--	--

<p>本文の引用</p> <p>心にのこっている言葉・文章 お気に入りの言葉・文章</p>			
---	--	--	--

--	--	--	--